

ヤマムラ、新築部門強化

「耐震エコ住宅」を展開

住宅建築・リフォームの「ヤマムラ」(関市下之保、山村誠示社長)は、新築部門を強化する。全国で営業を展開する岡山県津山市の住宅建築会社「イシ



ヤマムラが建築した耐震のエコ住宅。関市下有知

ンホールディングスの建築ノウハウを取り入れた耐震のエコ住宅を初年度15棟、3年後に年間30棟の受注を目指す。関市下有知に完成させた住宅で24、25日と7月1、2日に見学会を開く。

イシンホールディングスが全国の工務店と組織する「イシンホーム研究会」に昨年12月に加盟。木造住宅の在来工法のノウハウを導入した。柱と梁を金物で固定して耐震を強化、基礎と土台の間に特殊金物

を入れて地震発生時の揺れを少なくする「減震」の考えを取り入れた工法。温度、湿度を調整する熱交換換気システムを床下に設置して夏は涼しく、冬に暖かい室内を実現した。

財団法人地域開発センター「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」の優秀賞と優秀企業賞を7年連続で受賞している。

ヤマムラがこの工法で建築した1軒目の受注物件は木造2階建て。見学会で基礎から冷気が入らない断熱工法、ペアガラスの間にアルゴンガスを入れた高断熱の開口部などを